

2/13(土) まいど! 倫理がよい。気持ち... 天気です。春は又冬型になるとか... けと  
天候は「いい感じ」と受け取りたいと気持ちが良い。やらせたい。

今週の

倫理

2月のテーマ | 明朗愛和

草々運ぶアヒル

2021. 2. 13~2. 19

1216号

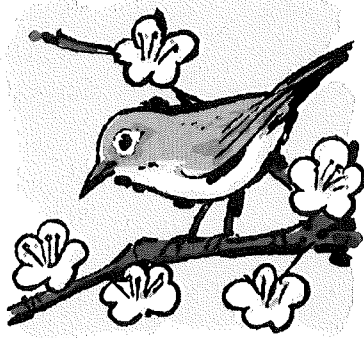
自分の周りに、どのようなことが起こったとしても、なるべく冷静に受け入れたいものです。しかし、頭ではわかっているけれども、実際には、気持ち揺れ動くことも少なくないでしょう。そのような時は、朗らかな気持ちで受け入れると、良い方向へ変わっていくことは、多くの人が経験していることではないでしょうか。

◆ 全国で事業を展開しているA社で販売促進の業務に就いているB氏は、人事管理課へ異動となりました。主な仕事は、採用管

理と社員教育です。  
A社では社員の能力向上のため毎月一度、社員教育を実施しています。その一環として、外部講師による研修があります。研修は毎月違ったテーマで行なうため、あらかじめ一年間の企画と各月のテーマに沿った講師の手配をする必要があります。B氏は、十二カ月分のテーマを決め、それぞれの内容に沿った講師の目星をつけ依頼の電話やメールをしました。

ところが、昨年来のコロナ禍の影響で、依頼を断られることがありました。初めは、「すぐに代わりの人は見つかるだろう」と気楽に考えていましたが、別の講師に依頼をしても断られたのです。

B氏は気を取り直して「以前、講師を受けてくれたことのある人に連絡をしてみよう」と思い立ち電話をしました。やはり都合がつかせませんでした。やむをえない理由があるので、無理やりお願いする



## 「これがよい」の 心境で仕事を受ける

わけにもいきません。その後、「また断られるかもしれない」と思うと、電話をかけることを躊躇するようになったのです。

そのような中、講師を引き受けてくれる人もいましたが、スケジュールが合わないこともありました。「探すのは、無理かもしれない」と思ったB氏は、気持ちが塞ぎ次第に声も弱々しくなつたのです。

ある日、B氏は読んでいた本の中に、「これがよいことなのだ」と明るく捉えると、事態は好転する」と記されているのを目にしました。その時、「そうだった。もっと朗らかに仕事をしよう」と姿勢を正したのでした。

以来、明るい声で電話をかけることになりました。「断る方も気を使って話しているのだな」と感じたB氏は、断られても明るく受け答えをしました。同僚に「今日も断わられたのですか」と聞かれると、「はい、よかったです」と大きな声で明るく返します。「大変ですね」と気遣われるたびに、「これがよいのです」と言うのと、自身の心も周りの空気もほぐれていくのを感じました。

そうしているうちに、講師を引き受けてくれる人が何人か見つかりました。一方、B氏は緊急時には通例にこだわらず、研修内容を変えるなど柔軟に対応していこうと、考えを切り替えられるようになりました。どのような仕事も「喜んで」と受けて取り組むうちに、周囲の状況もよい方向に変わっていきます。明けない夜はありません。明るく働く気持ちをどのような時も持っていたいものです。